
証券決済制度改革推進フォーラム 2005 について

日証協・証券決済制度改革推進センター・平 17.3.23・24

証券決済制度改革推進センターでは、3月23日・24日の2日間にわたり、東証 Arrows において、日本証券業協会の協会員及び投資信託協会の会員、実務関係者を対象として、標記フォーラムを開催いたしました（後援：(株)東京証券取引所、(株)証券保管振替機構）。

同フォーラムの講演内容及び資料につきましては、今後、同センターのホームページに掲載する予定でございます（アドレス：<http://www.kessaicenter.com>）。

また、同フォーラムの概要につきましては、以下のとおりです。

○ 概要

去る3月23日（水）・24日（木）の2日間にわたり、「証券決済制度改革推進フォーラム 2005」（以下「フォーラム」という）が東証 Arrows において開催され、証券会社及び金融機関の担当者を中心に、のべ約 1,000 名が参加した。

本フォーラムは、我が国の証券決済制度改革の全体像の理解促進及び意識向上等を目的として、日本証券業協会 証券決済制度改革推進センターの主催（後援：(株)東京証券取引所、(株)証券保管振替機構）により開催されたものであり、昨年度に引き続き2回目の開催となる。

今回のフォーラムでは、証券決済制度改革についての理解促進を図るため、関係者による基調講演や特別講演が行われたほか、証券業務の S T P 化の推進を図る観点から、S T P 化の対応に当たっての具体的な方策やシステム・イメージなどの情報を提供するため、カストディや I T ベンダー等の協賛会社によるセッションやブースの展示が行われた。

証券決済制度改革推進センターは、証券決済制度改革に関する実務面からの議論をリードするために本協会が主宰して設置した「証券受渡・決済制度改革懇談会」の事務局を務めるとともに、制度改革に関する各種の周知・啓発活動や改革実現に向けたマイルストーンの公表等、市場関係者の共通認識の形成などに努め、市場関係者の理解を深めることを目的とした活動を行っている。

1 日目は、日本証券業協会の高橋厚男副会長の挨拶（開会宣言）に続いて、金融庁の小滝一彦総務企画局市場課企画官、慶応義塾大学の池尾和人経済学部教授より、それぞれ「新たな振替制度への移行に向けた取組み」、「金融サービス立国に向けて - 投資サービス法の意義 - 」と題して、基調講演が行われた。午後には、日本証券クリアリング機

構の藤澤事務統括長と日本国債清算機関の沖津正恒社長より、それぞれ「クリアリング機構の現状と今後の課題」、「日本国債清算機関の現況について」と題して、特別講演が行われた。その後、2つの会場に分かれて、協賛会社（4社）により、証券業務のSTP化推進に向けた対応等に関するセッションが行われた。

2日目は、日本経済団体連合会 経済本部長の久保田氏より、有価証券の発行者の立場から挨拶が行われた。引き続き、法務省の葉玉匡美民事局付検事より、「株券電子化と会社法の現代化について」と題して基調講演が行われ、次に日本銀行の下田知行金融市場局企画役より、「証券決済制度改革における日本銀行の取り組み—国際的な議論への参画を中心として—」と題して特別講演が行われた。午後には証券保管振替機構の村井博美専務取締役より、「決済制度改革実現への取り組み」と題して、基調講演が行われた。その後、3つの会場に分かれて、協賛会社（7社）により、証券業務のSTP化推進に向けた対応等に関するセッションが行われた。

また、フォーラム開催中、証券業務のSTP化に係るソリューション等を展示するブースが、カストディやITベンダー等の協賛会社（12社）により開設された。

以 上